

第14回 AITテクノサロン

AITテクノサロンは、愛知工業大学教員の研究成果・シーズについてご紹介し、地域の方々との交流の場を提供するものです。
今回は、カーボンニュートラルをテーマに、4名の教員が話題提供いたします。

主催：愛知工業大学総合技術研究所
共催：(公財)名古屋産業科学研究所
協賛：(株)大垣共立銀行、豊田信用金庫、(株)名古屋銀行

2024年 3月 26日 (火) 14時00分～17時00分
愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス

名古屋市千種区自由ヶ丘2丁目49-2 地下鉄名城線「自由ヶ丘駅」下車、徒歩1分
(※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。)

FREE
参加無料
(定員50名)
TO JOIN

カーボンニュートラルに向けて

～国、県の政策から大学での研究～

14時00分～ 「我が国のカーボンニュートラル燃料政策の動向」

総合技術研究所 教授 近藤 元博

GX推進法が制定され本格的な脱炭素への取組みが始まり、現在分野別の「GX経済移行債」の検討が進んでいます。この中でも、有力な脱炭素の切り札となる水素、アンモニア、e-methane、e-fuel、並びにSAFなどの脱炭素燃料の我が国の政策の動向と取り組みについて解説します。



14時30分～ 「カーボンニュートラルに向けた地方創生エネルギーシステムにおけるブルー燃料の役割と課題」

総合技術研究所 客員教授 板谷 義紀

カーボンニュートラルの社会構築に向けては、政府から莫大な予算投入による多角的な技術開発だけでなく、自治体と産・学が連携した地方創生システムの基盤研究開発も推進されています。中でもブルー燃料は従来型化石燃料に代替しうる化学原料、熱源、車両用燃料等で大きな役割を担っていますが課題も多いのが現状で、その「理想と現実」について紹介します。



15時00分～ 「燃料から考えるカーボンニュートラルへのアプローチ」

工学部機械学科 教授 西島 義明

我々の生活において燃料は必要不可欠なものです。一般的な燃料はC（カーボン）を含有していることから使用時のCO₂発生を避けることができません。カーボンニュートラルに向けてこの現状を打破すべく開発が進められているCO₂低減技術や実質的な排出量を増加させないCO₂吸収技術について紹介します。



15時30分～ 「カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵材料の開発」

工学部応用化学科 准教授 糸井 弘行

バイオマス資源の有効活用と、最小限のエネルギーによる環境負荷の小さい合成手法に着目した、高性能なエネルギー貯蔵材料の開発について紹介します。



16時10分～ 意見交換会 (軽食による懇親会)

〒470-0392
愛知県豊田市八草町八千草1247
0565-48-8121 (内線1400)
so-kenjimu@aitech.ac.jp

3月15日(金)までに、フォームまたはメールにてお申込みください。
<https://req.qubo.jp/aitech/form/technosalon14>
※メールでお申込みの場合は、氏名・所属をお知らせください。

